

水産業を担う若い力!

ふくい水産カレッジとは?

県内で新たに漁業、養殖業に就業したい人を対象に、実践的な研修が行われています。県内ハローワークや都市圏での漁業就業フェアなどで募集、相談を行っており、希望者は短期の漁業体験などの研修を経て、水産カレッジの入学を決めます。

水産カレッジには「漁船漁業・海女コース（研修1年間）」「養殖コース（最長3年間）」があり、漁業の基礎を受講していきます。内容は大きく「座学研修」と「漁業実習」があります。漁業実習のカリキュラムは、操船・漁具メンテナンスなどの「操業・生産技術」、漁獲物の選別や鮮度管理技術などの「高付加価値化技術」、流通や省コスト操業技術などの「経営技術」、さらに漁村の暮らしや地域文化を学ぶ「総合実習」で構成されています。研修生は、給付金や住宅の貸し出しといった金銭的支援を受けることができます。

平成27年度から始まったふくい水産カレッジの越前町の在校生は、今年で18人となりました。



▲施設見学



▲座学研修



▲漁業実習の様子



▲漁場整備見学



▲網場実習の様子

修了生

やま よし き
小山 睦生さん
(越前町出身)

きむら しゅう
木村 周さん
(福井市出身)

やま ぢち ふか と
山口 史人さん
(鯖江市出身)



▲左より 山口さん、木村さん



▲小山さん

令和3年10月にふくい水産カレッジ漁船就業コースに入学し、1年間の漁業実習と座学研修を終え、小山さんは栄光丸、山口さんと木村さんは米ノ定置網組合で働いています。



小山 睦生さん

できることを増やし、技術を磨き、みんなの役に立てるように努力していきたいです。

木村 周さん

学んだことを糧に、少しでも先輩たちのような立派な漁師になれるよう励み、越前町の水産業や地域の発展に貢献できるように頑張ります。

山口 史人さん

漁師になってから1年以上経ちましたが、まだまだ分からないことだらけなので、水産カレッジで学んだことを思い出し、一人前の漁師になれるよう頑張ります。

これから頑張ることなどの抱負

入校生

むら ぢち ゆたか
村口 豊さん
(大阪府出身)

ます なが かず ま
増永 和真さん
(福井市出身)



▲左より 増永さん、村口さん

ふくい水産カレッジ
入学式

10月13日に水産カレッジに入学しました。村口さんは小樽定置網組合、増永さんは米ノ定置網組合に実習し、定置網漁を学んでいます。

村口 豊さん

初めは漁師とはどんなものなのか明確なイメージがなく、不安でいっぱいでした。動き始めると想像以上に大変なことが多く、驚くことばかりです。

最近では、海水の温度等が原因でとても速い潮流が起こり、網が大きく裂け、自然の力にとても驚かされました。今はその網を直すなど、魚を獲る以外の仕事ばかりで、漁師にならなければ知らなかった体験をしています。

好きな海を近くに感じながら仕事をするのは楽しいです。これからも沢山の美味しい魚を届けられるよう頑張ります。

増永 和真さん

水産カレッジでの授業や日々の仕事で知識を得て、1日でも早く漁師の仕事に慣れるよう頑張りたいと思います。今まで体験したことのない海上ではありますが、先輩方の積極的に教えるのを頼っていただけのような仕事ができるよう頑張りたいです。

意気込み

問合せ先 農林水産課 ☎ 34-8704